



# 留学生と語り合う No. 74

## RKKニュース (2019年 新年号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

### 恒例のRKKフェスティバル開催！

### The Annual RKK Festival 2018 !

11月23日(祝日)、かながわ県民センターにてRKKフェスティバル2018が開かれ、80人を上回る参加者を得て、無事、盛況に終えました。

The RKK Festival 2018 was held at Kanagawa Kenmin Center on Nov. 23rd. It was a very successful event with over 80 participants.

この一大イベントは、午前第14回RKK日本語スピーチ大会を、そして午後第6回RKK文化祭を開催したオールRKKの全員参加型イベントです。日本語スピーチ大会には、5ヶ国の出身地から7人の留学生が出場され、自分で決めたテーマで、自分の思いを語りました。今年はスピーチの前に留学生のチューターが紹介され、それぞれのチューターからご挨拶そして支援の感想もいただきました。恒例の山田先生の講評は発表者一人一人のスピーチを的確にレビューされ、わかりやすくまとめてくれました。本スピーチ大会は学習者とチューターが、一緒に日本語学習をした努力の成果発表会でした。

The seven international students from five countries entered the Japanese speech contest in the morning and spoke about their thoughts on the themes decided by themselves. Their tutors were introduced before their speeches this year, and each tutor greeted and remarked on their support. Mr. Yamada reviewed each speech accurately and clearly in his annual feedback. It was a place for the students and their tutors to show the results of their efforts studying Japanese together.

文化祭では会員の作品である写真、絵画、書が展示され、日本文化の茶道、書道、囲碁、将棋、伝統遊戯、そして似顔絵などのワークショップを設け、今年はあらたに川柳と風呂敷遊びが加わりました。海外文化の紹介では、インドネシア、ベトナム、ロシアからの留学生が映像を使ってお国自慢を披露してくれました。文化祭は、留学生と日本人にとっての異文化理解の場であり、また趣味・特技を通じて輪を広げ、絆を深めていく絶好の機会となりました。

In the cultural festival in the afternoon, pictures, paintings and calligraphy by RKK members were displayed. Participants enjoyed various workshops of Japanese culture, such as tea ceremony, calligraphy, the game of Go and Shogi, traditional games, and drawing portraits. Senryu (comic haiku) and playing with Furoshiki (wrapping cloth) were newly added to the workshop this year. Students from Indonesia, Vietnam and Russia showed slide and movie to introduce each culture which they were proud of.

(萩原 記)



For the international students and Japanese participants, this was a great opportunity not only to understand other cultures, but to deepen mutual bonds expanding each circle through hobbies and special abilities.

※The photo album of the RKK Festival 2018 and the drafts of the speech contest are posted on the RKK website. (Translated by Azusa Sugita)

(付記) ・RKK フェスティバル 2018 写真集、スピーチ大会草稿集はホームページに掲載。



### お知らせ

#### Visit to Asahi Shinbun and Tokyo Metropolitan Government

Date : March 27, 2019 (Wed.)

Meeting : 10:15 a.m. at Tsukijishijo Station of Toei Oedo Line

Visiting Places : Asahi Shinbun Publishing Co., Tokyo Head Office and Tokyo Metropolitan Government Building

For details, scan this code and find the above event. Please register for participation.



# RKKフェスティバル

## 第14回日本語スピーチ大会の開催

このたびの第14回RKK日本語スピーチ大会では、下表のとおり7人の留学生・元留学生から日本語のスピーチを聞くことができました。スピーカーは出身国、所属大学、また、交換留学生、JICA留学生と非常に多様でした。そして日本語の習熟にも違いもあり、彼らが日本語を懸命に勉強していることに感心しました。スピーチの内容には、留学生に関心が高い就活の経験談もあり、内容も多彩でした。チューターの方からの背景説明もスピーチの楽しさを倍増しました。そして、今後のRKKにおける留学生への日本語支援についても考えるよい機会にもなりました。(布津 記)



### RKK日本語スピーチ大会プログラム

氏名	テーマ	出身国	所属
斎 晏蔚 (サイ イン)	ホームシックの味	中国	横浜国立大学
リー ファイ	雪への憧れ	インドネシア	慶応義塾大学 (JICA 留学生)
アンドレス	チームワークと思いやり	コロンビア	横浜国立大学 (交換留学生)
ジミー	持って帰りたい思いやり	オーストラリア	横浜国立大学 (交換留学生)
グエン チュン ギエブ	初めての日本で1年半	ベトナム	慶応義塾大学 (JICA 留学生)
グエン ファム ゲン ヴォ	日本での就活	ベトナム	横浜国立大学
渠 妍 (コ ケン)	日本企業に就職して	中国	横浜国立大学 (卒業生)

## 第6回文化祭が開催されました

11月23日、恒例の文化祭がおよそ100人の参加者を得て盛大に開催されました。日本人会員による多くの絵画、写真の作品に加え、今年も張嬢媛さん絵画の作品が出展され、また新たに善道作品、川柳も出展され参加者の目を楽しませてくれました。生け花展示は会場を一層華やかなものにしてくれました。ワークショップは囲碁、将棋、茶道、絵画、書道、伝統遊戯、似顔絵とバラエティーに富み、茶道では美味しい和菓子を味わいながらお茶を楽しみ、書道では自分の名前に当てはまる漢字を探して書き、絵画では先生の原画をもとに水彩画を描き、伝統遊戯では日本の音の子供たちの遊びを楽しみました。今年は新たに風呂敷の各種包み方、科学おもちゃなども展示されました。いつも人気の似顔絵は今年も大勢の人で順番待ちの長い列ができました。



留学生にとっては日本の伝統文化に浸ることができ、貴重な体験を楽しんだことと思います。お国紹介ではインドネシアのラティさん、ベトナムのフィさん、ロシアのエカテリーナさんがパワーポイントを使ってそれぞれ美しい国、街を紹介してくれました。(文化・ファミリー交流グループ 徳屋 記)

### RKK 6th Culture Exchange

Culture Exchange was held on 23rd/Nov. at Kanagawa Kenmin Center with some 100 participants. Many works of Photo, Painting, Calligraphy and Senryu (Comic Haiku) were exhibited. Japanese tradition like Igo, Shogi, Tea ceremony, Calligraphy were performed. We also enjoyed workshop of Painting, Japanese traditional game, Furoshiki Play etc. We suppose international students could enjoy Japanese traditional culture. Miss Ratih Dewi Alam from Indonesia, Mr Nguyen Quang Huy from Vietnam, Miss Ekaterina Eremeeva from Russia introduced their beautiful home countries using power point. (Tokuya)

# 留学生からのたより

## 日本での就活



Nguyen Pham Quang Vu (ベトナム) 横浜国立大学大学院  
英語で博士まで、日本に留学している学生にとっては日本での就活は非常に難しいことが分かりました。しかし、自分の経験から、次の3つのことを理解しておくことは大事だと思います。

まず、マッチングが一番大事なことです。例えば、日本だけではなく世界中のプロジェクトをしている会社なら外国人を積極的に募集する可能性が高いです。知り合いと外国人の就活を応援する会社からこのような貴重な情報をもらうべきだと思います。次は、少なくとも日本語能力試験N2を合格することは必要です。日本語が上手になると日本人の同僚とうまく仕事ができるし、お客さんと会話もできるからです。ですから、忙しくても研究しながら、毎日1か2時間ぐらい日本語を勉強することは大事です。自分の専門能力も必要です。企業にとって自分が研究している分野の知識は役に立てば役に立つほど合格しやすくなります。企業に関するテーマなら実際の仕事に関するテーマで関心も高く楽しいと思います。ですから、研究テーマを選ぶ際にもよく考えた上で選んだ方がいいと思います。失敗するのは次の成功の経験になるので失敗を恐れずに次の機会を探したら、きっといつか成功が来るはずですよ。(原文のまま)

## 家族と一緒に日本航空の工場を見学

黄 曉霖 (中国) 横浜国立大学大学院

大学院の勉強が終わった後、最後の夏休みに、家族と一緒に日本航空の工場見学に参加し、楽しい“空の旅”の体験ができました。

見学内容は次の三つに分かれていました：航空教室の講座、展示エリアの見学、格納庫の見学。航空教室では、JALのスタッフがJALの運営、空港の施設、飛行機の構造など、様々な画像によって説明してくださいました。普段は旅をする時、よく飛行機を利用していますが、空港の滑走路の数と方向や飛行機の重さや飛行の原理などは詳しく知りませんでした。今回の講座によって、フライトについての知識が増え、飛行機に対してますます興味を持つてきました。充実した講座が終わったあと、面白い展示エリアを見学しました。展示エリアではJALグループが提供しているサービスによって、空港スタッフ、パイロット、客室乗務員、貨物スタッフ、航空整備士の五つのエリアに分け、見学者がスタッフたちの実際の仕事環境を見ながら見学できるように配置していました。展示エリアの見学の次は、一番わくわくする本格的な格納庫の見学でした。格納庫というのは、JALの機体整備が行われている場所です。JALの広い格納庫へ入り、目の前に60メートル以上もあるボーイング777が駐機していました。このように近距離で飛行機を観察することは初めてなので、とても興奮していました。JALのスタッフは目の前にある本物の飛行機を見せながら、飛行機の点検と整備の作業を詳しく説明してくださいました。

今回の日本航空工場見学によって、飛行機についての知識を学ぶことができるだけではなく、乗客に安全で快適な空の旅を保证するために、さまざまな空港スタッフが努力していることもわかり

ました。それに、お客さんに「安心」と「満足」を届け、世界一品質の高い航空サービスを提供するように目指している日本企業の素晴らしさも感じていました。本当に楽しい見学でした！  
(原文のまま)

## My impression living in Japan

Akhmad Baiquni Muhaemin (インドネシア) 慶応義塾大学大学院



We are Indonesians, just call us Abai and Andini. We are husband and wife. We are happy to live in Fujisawa because there are many beautiful green spaces so we can enjoy walking around and cycling. We see that Japan is a country that maintains cleanliness, tidiness and healthy life. Japanese people like practical things like many available water and toilet. As Muslims, we feel helped by the existence of a garden and access to water for prayer.

In Japan there are many different flowers every season, refreshing our eyes. The temperature changes with the four seasons. When it's summer, the atmosphere is very hot and humid sometimes more than in Indonesia. As for the price of things, not to worry, eco houses sell secondhand items which are more economical. In plain view, Japanese people have a high taste and try to always look clean, by buying new items and putting away old ones, they push the economy a lot.

Life in Japan has a lot of rules and regulations, good but sometimes makes the head dizzy. All details are included in one book or sheet that contains complicated mini-text. Sometimes reading a map is not necessarily helpful because of the complexity of the writing in it. Also the way inside buildings often makes us lose direction, especially under the ground or a closed place like a mall. But we think this is just a minor thing that will be solved fast, after all Japanese people are very innovative.

Japan always keeps its history and culture from eroding, for example there are a lot of festivals every year. Many delightful events according to season make people active in Japan. Museums and libraries with gorgeous designs provide a wealth of information. We are helped by the RKK program which makes us feel closer to Japanese people, besides learning the language we also enjoy some events with our sensei at RKK. Once we went to Oyama, enjoying parks and beaches in Manazuru, trip to Hakone and Tokyo, trying sushi, tanabata and hanami. We feel our sensei is like the best friend in Japan who is always ready to help.

Japan pays attention to children by building amusement parks and play corners in each building. Animes such as Doraemon and Ghibli studios create a faithful audience and presents a moral message. Transportation in Japan is quite good, trains, buses that are almost always on time make it easier for us to travel, and there are also cheap tickets (free pass) to explore fun for travel enthusiasts. We enjoy it very much.

RKK for the future idea:

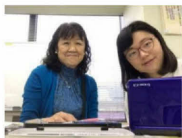
1. To have some group discussion between RKK members, and also to know about different culture between foreigners, and know about tips for living in Japan from another point of view (like muslims), maybe it could have a joint class once a while. The joint class will be supervised by sensei's whomever available at that time.
2. It is helpful to be informed of different events and outdoor activities that could be joined by the members, maybe this could be included in the RKK Newsletter.



# 日本語支援活動

## 日本語支援を始めて

西地区 小島 明子



私は日本語支援を始めて三年目となりました。当初は「先生」と呼ばれるのに気恥ずかしさを感じましたが、だいぶ慣れて来ました。

今は中国からの留学生を担当しています。私は何度か中国へ旅行に行き、中国人との交流もあって、留学生には親しみを感じています。これもご縁というものでしょうか？

留学生は日本での就職を希望しています。就活に向けて日本語の記事の紹介と内容の説明、留学生が書いた文章の添削をしています。日本語会話力を高めるために話す機会を多く持ち、また、どんなことを留学生が求めているのかを理解するように努めています。会話の中でふさわしい言葉の使い方も学べます。

お互いのコミュニケーションが交流の軸となるので、会話を大切にしています。一対一の日本語支援はRKKならではの良い点だとつくづく思います。日本語支援を通して私も学ぶことができるのは素晴らしいことです。留学生の育った文化、環境を受け止め、他国をより良く理解したいと思っています。同時に日本の文化も伝えたいと思います。私の考えを押し付けることはせずに、留学生の考え方を尊重して、持っている力を伸ばせるよう支援が出来たらと思います。せっかく数ある国の中で日本に来て学んでいるのですから、日本で住み心地が良い生活体験がたくさん出来、日本を理解して好きになってほしいと願っています。

2019年にRKKは創立20周年を迎えます。これからの国際社会の中、いろいろな国からの留学生が多数、日本に来て、RKKを通じてお互いの文化交流ができ、相互の国の理解が深まるようにできたら嬉しく思います。

## 「日本語学習者・支援者のための集い」におけるRKK活動紹介 （“あーすぶらざ”にて）

日本語支援グループ 岩瀬 暢男

RKK “語り合い” の場として利用している “あーすぶらざ” の表記イベントが2018年10月14日（日）に開催され、RKKはポスターセッションの部（8団体）で活動の紹介をしました。

「資格は必要ですか?」、「資料は何を使うのですか?」などの質問が出され、ブースを訪ねて来られた5人の方には大変興味を抱いて頂き、今後の活躍が楽しみと感じました。同じポスター会場で開催されたワークショップの部では“ことばのテーブル教材集”との講演もあり、“10秒映画”や“俳句をよもう”などのアイディアに富んだ方法を取り入れての学習法の紹介など、RKKの”語り合い”の進め方にも役立ちそうで新鮮な情報に接することができました。



## 新入正会員のみなさまへ、 よろしくお祈りします！

浅井 春夫（西区）、大竹 千子（金沢区）、関 廣治（鎌倉市）、明星 圭介（港北区）、  
小菅 正人（港北区）、渡辺 道子（鶴見区）、立木 左絵（西区）（敬称略）

## 日本語の教え方講習会

### 第23回日本語の教え方講習会を開催して

日本語支援グループ 布津 甚大

薄井廣美先生（横浜国立大学 日本語講師）をお迎えして、10月7日から11月18日まで、全5回にわたって、日本語の教え方講習会を開催いたしました。

私共とボランティアで外国人に日本語を教え、“その交流を通じて異文化を学んでみませんか”、さらに、経験者の方々には、“これを機会にレベルアップをしませんか”、と呼び掛けました。また入会希望者には留学生の紹介等のキャンペーンを行いました。

その結果、受講者37人（会員8人、一般29人）がこの講習会に参加いただきました。薄井先生と受講者との授業は活発な質疑応答もあり、受講者の皆様の日本語教育への目的意識、向学心の高さに感じいたしました。

講習会の修了後には6人の方が留学生との交流を希望され、チューターとして入会していただきました。すでに入会された方々には約束のとおり、留学生とのマッチングを行いました。

新しく入会いただいた方々のRKKにおける今後のご活躍を期待します。



### 「第23回日本語の教え方講習会」受講感想記

南地区 大竹 千子

10年ほど前から在日外国人に日本語をお教えており、その間、機会あるごとに関連知識を深めてまいりました。中でも大学での異文化理解の単位取得に費やした期間は、家族の理解と協力があったことで、感謝の日々だったことを思い出します。

先日、「留学生」、「日本語」の文字に引かれて手に取ったのが、RKKの講習会のチラシでした。それは正に新たな出会いの始まりとなりました。

講習会講師の薄井廣美先生の正当なご講義は、真の日本語を外国人が学んでいく過程での気遣いにも及び、理解過程の混乱を避け、すっきりと学びが構築されるような配慮の必要性を改めて認識するものでした。また講座の指導資料もとても参考になり、そのお人柄にも魅了されました。受講で得た知識を思い起こすにつけ、常に学び続けることの大切さを再認識します。

留学生の方々が日本語を、心から聞き、真理を美しく話し、あらゆる書籍その他を読み、文法と理論に叶う文章を書くこと等様々なことを身につけて、将来を担う人材に育て、国と国との良好な関係と世界平和が平常である中で活躍できるよう、希望と期待を持って日本語指導に力を注いでまいりたいと存じます。



### RKKホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しており、「会員のひろば」も開設いたしました。

「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画などの文化交流情報にも利用できます。

掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

## 地区からのたより

### 「第9回とつかお結び広場」に参加して

12月2日(日)、戸塚区総合庁舎3階を中心に開催された催しに参加しました。6回目の今年は、ブース内展示に加えパフォーマンス部門にも初参加しました。ブース来訪者は30人と例年並みでしたが、箏の演奏会場は立ち見客も出る盛況ぶり、RKKの活動が芸術・文化面での交流にも及んでいることをアピールができました。留学生会員の張恬さん始め、富志乃会員の息子さんや可愛いお弟子さんの見事な演奏の後、聴衆の皆さんを唸らせる富志乃会員の素晴らしい演奏で締め括りました。改めて音楽の集客力を認識しました。

来年(12月1日に決定)以降も継続して参加しようと思います。また、この催しと同じような他地区イベントとも連携してRKK全体の年間活動計画の中に入れ込むような検討をする時機に来たのかも思います。(西地区 前田 記)



### 過去にも現在もそして未来も・・・思いやりあふれる北地区交流会

10月27日(土)に10人の会員の参加を得て北地区会員の交流会が行われました。今回は20周年記念イベントと記念誌に向けての話し合いが中心でした。プロジェクトチームからの提案のタイミングがあっていたので、現段階での説明ができ、その結果、皆さまからの協力を得ることができました。

いつも通りの話し合いの他に、山口さんのギアナ高地に行った時の写真やビデオを通して、秘境の世界のすばらしさを共感することができました。また、宮丸さんからは科学の知識を生かした動くおもちゃの実演があり、山崎さんからは家庭農園で採れた新鮮な野菜のお土産ありと皆さまの心遣いが至れり尽くせりでした。

北地区では地区内で留学生をまかなえないという点でチューターをなさっている方が減少気味ではありますが、行事などに参加されるなど、何らかの活動を通して過去にも現在もRKKに貢献されている方が多く、とてもありがたいことです。ちなみに、10月21日(土)に旭区は「ふれあい区民祭り」を開催しました。昨年度は「みなくる」(旭区市民活動支援センター)での大行事で私たちにとって一大イベントでしたが、今年は区役所内における団体紹介のPRシートの展示のみとなりました。(北地区 松井 記)



### ふじさわ国際交流フェスティバル

10月28日、藤沢駅前広場で頭書のフェスティバルが開催されました。豪雨で中止となった昨年とは打って変わって秋晴れ。藤沢市に登録している日本語教室団体(MAP登録9団体)と一緒にブースに我々も参加し、パネル展示、資料提示等実施しました。中国、韓国、ベトナム、ブラジル、カナダ、ドイツ、アメリカなどのブースが主として、食べ物中心となる中、日本の伝統的な生け花や、彫刻刷り絵の実践など、文化交流の場としての活動がPRされていました。日本語教室のブースへは外国人の立ち寄りはありませんが、ボランティア活動に興味を示す日本人の問合せがままある程度でありました。(9団体に割り当てられた資料展示スペースは小さなテント



一つのみであったこと、ゆっくり話すスペースもなかったこと（もあってか）。藤沢市在住外国人は、現在6,000人程で、2020年オリンピック江の島でのヨット競技もこれあり、市として在住外国人の数を増やしたいとの強い希望ありとのことでありますが、その割には広場全体スペースが狭く、ブース間を歩く人たちにゆったり感がなく、来年以降のフェスティバルの在り方について、いずれ、MAP会合もあると思われまますので、改善のための意見具申をしたいと思っております。（湘南地区 坪井 記）

## 江ノ島散策交流会

湘南地区も会員と交流する機会が3ヶ月に一度の会合ですが、今回は江ノ島散策という屋外の会合を11月11日に開きました。歩きながら普段ではできないような会話を自然と交わすことができました。散策の良いところは、何気ない会話の中から日頃、一人で抱えている留学生の指導方法やトラブルなどのアドバイスをいただけることがあります。

これは先輩会員が過去の指導経験から得た同じような悩みで日々奮闘してきた証であると思います。私自身、社会人会員のチューターを1年弱しており、実施している内容は毎回フリートーク形式で日頃あったことを会話形式で指導していく方法を取っていました。ただ、その場合、指導している側や指導されている側の習熟度の実感が湧かないのではないかとこのことを相談しました。

社会人として仕事とボランティアの両立を目指しているので、会員と留学生や社会人留学生、お互いが効率よく有意義な時間を過ごせるような指導ができればいいと思っていたので、非常に参考になるアドバイスをいただきました。また、今回の江ノ島散策では会員の方からも身近な江ノ島だけ意外と楽しめることができ、来てよかったとの声もいただき、天候にも恵まれ暖かい陽気に包まれながら充実した時間を過ごすことができました。（湘南地区 楢原 記）



## 委員会情報

### 就職活動の時期とリクルートスーツがおかしい (RKK 就活情報支援委員会からの便り)

これは2019年3月卒業・修了予定の外国人留学生が、日本の就活に対しておかしいと思った制度と習慣のトップ2です（両者とも36.5%）。就職活動が長期間にわたって行われるために学業との両立が厳しいことと、就活専用スーツや靴やカバンなどが必要になることが違和感を与えています。3位は新卒一括採用制度（34.3%）（出典：ディスコ、2018.8発行）。

では、2020年3月卒業・修了生の就活はどうなるのでしょうか。本年2019年3月1日に会社説明会・エントリー解禁、6月1日面接・筆記試験解禁、10月内定出しの経団連「就活ルール」が踏襲されることが決まっています。実際に「2019年卒マイナビ企業新卒内定状況調査」によると、2020年卒業・修了生のエントリー受付は3月に70%となる見込みです。ところが同時に早々と3月に面接を開始すると企業の35.2%にも及ぶとの予測も見られます（同調査）。

留学生の悩みを知りつつ、就活の実情情報を入手して語り合いをするためのお手伝いを委員会が進めています。（岩瀬 記）



# トピックス

## 横浜国立大学日本語スピーチ大会 見聞記

日本語支援グループ 古谷 清子

初冬の半日、横浜国立大学のスピーチ大会を楽しんできました。私達のスピーチ大会と大きく違うのは横国大はあくまでコンテストであり、優秀をつけていることでした。

開始前に詳しい審査ポイントの説明があり、審査は審査員のみならず、視聴者全員が参加できる投票という仕組みが設けてありました。また、スピーチのテーマも「今、〇〇に伝えたいこと」で統一し、スピーカー10人は日本語のレベルで初級と中上級に分けられていました。初級レベルは3分間、中上級レベルは4分間で、時間オーバーは強制終了と時間の管理ルールも厳格でした。韓国と中国系留学生が半々でしたが、日本語の学習時間をお聞きすると数か月と言う人もいて、この時ばかりは何事もすばやく吸収する若さを羨ましく思いました。運営はあくまで学生が主体で、先生方は脇役に徹しているといった印象を受けました。大会後の懇親会も有意義な時間でした。



## 横浜国立大学“観月の会”に参加

文化・ファミリー交流グループ 徳屋 英生

11月7日に開催された横浜国大学長主催の観月会に参加しました。主に外国人留学生、研究者を対象としたもので、参加者は外国人をはじめ、マスコミ、ボランティア、横浜国立大学関係者と多岐にわたっていました。RKKよりは富志乃さん、中国人留学生2人が初めて琴、三味線の演奏をしました。また、中国人留学生による琵琶、二胡の演奏、日本人学生による和太鼓の演舞などが披露されました。RKKからは深水、山壽、前田、萩原、徳屋が参加しました。



### Moon Viewing Party held by YNU

Attended a Moon Viewing Party on 7th Nov. held by Yokohama National University. This party is mainly aimed for International Researchers and Students. Many international people, mas-communication related stuff, volunteer and university stuff attended the party. We could enjoy various delicious foods and also could enjoy music performance. Koto and Shamisen were played by RKK Ms Tomishino and Chinese students. Chinese students played Biwa and Niko and Japanese students played Wadaiko. Mr. Fukami, Yamazaki, Maeda, Hagiwara, Tokuya attended from RKK. (Tokuya)

## 横浜国立大学 留学生会館ウインターパーティ参加

毎年恒例の横浜国大 弘明寺留学生会館ウインターパーティが12月7日に開催され、深水理事長と出席しました。藤井教授より開会の挨拶があり、そして、留学生を代表してアンドレスさんの挨拶がありました。彼は、私共の日本語スピーチ大会に出場したコンピアからの交換留学生で、日本語と英語で立派に挨拶し、大きな拍手をもらいました。この会館の留学生には交換留学生も多く、西欧、中東、南米、そしてアジア諸国等多様な出身国で、会場の談話室に溢れるほどの多くの留学生が参加し、彼らと親交を深めることができました。この会館には、留学生の相談相手として、日本人学



生も入居しており、日本での生活・社会への対応、支援等を行い、留学生と仲良くなれることが嬉しいとのことでした。（布津 記）

## 横浜地区中国留学生学友会 参加記

標記の学友会によって、新入生歓迎会および日中交流会（11月24日、横浜市技能文化会館）が開催され、招待されました。このたびは日中交流会も同時に開催され、中国大使館（教育部）の一等書記官を含め、3人の書記官が参加しました。そのような機会でもあり、前回以上多くの留学生（おおよそ100人）が参加し、非常に盛会でした。もちろん、RKKと顔なじみの留学生もおりました。また、RKKの文化祭で演奏してくれた胡さん（琵琶）、劉さん（二胡）の演奏もあり、賑やかでした。

中国大使館一等書記官からは、日本の法律、習慣に従い、日本人々と友好を進め、学業に頑張るようとの挨拶（通訳）がありました。RKKからは布津氏、深水が参加しました。RKKは留学生によく知られているようで、乾杯の音頭を仰せつかりました。

（深水 記）



## 神奈川大学（湘南校区）中国留学生学友会交流会に参加して

神奈川大学（神大）中国留学生学友会の交流会（12月22日、かながわ労働プラザ横浜・石川町）に招待を受け、参加しました。神大湘南キャンパスの留学生をはじめ、神大横浜キャンパス、さらには横浜国大や横浜市大の留学生も参加していました。神大友会の紹介、立食パーティおよび留学生諸君の歌、特に中国、最近の新年の歌等で盛り上がりしました。ボランティア団体の参加はRKKのみで、布津、岩瀬両氏と深水が参加しました。乾杯の音頭を取らせてもらいました。数人の留学生と話したのですが、中には卒業後、日本で起業する予定とのこと、RKKで支援した元中国留学生にも事業家の数人がおりますが、中国の学生は起業に前向きようです。（深水 記）



## よこはま夢ファンドのご案内

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。

このファンドを通じてRKKの留学生支援活動を支援していただくことができます。ご協力をお願い申し上げます。

税制上の優遇措置など詳細は、[よこはま夢ファンド](#)で検索してください。



## おもな活動 (2018/11 から 2019/1 まで)

### 理事会

◇12/23 サポートセンターR711にて、第3回理事会が開かれ、活動グループ、委員会の担当理事からの報告と協議がされ、また RKK 創立 20 周年記念プロジェクトからの経過報告と審議も実施された。

### スタッフミーティング

◇12/23 午後、サポートセンターR711にて 24 人のスタッフの参加のもと、2018 年度第 3 回スタッフミーティングが行われ、活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからの C&C (報告・連絡そして相談) を実施した。また創立 20 周年記念プロジェクトからの経過報告および質疑応答。ディスカッションタイムには、11 月 23 日に開催した「RKK フェスティバル 2018」を振り返って意見交換をした。

### 活動グループ

◇日本語支援 G : 日本語の教え方講習会は、37 人の受講で、無事終了。11/23 の RKK フェスティバルでのスピーチ大会には、5 カ国、7 人の留學生が発表。RKK フェスティバルには、総勢 83 人が参加。  
◇文化・ファミリー交流 G : 11/23 の RKK フェスティバルでの文化祭を主催し、お国自慢等好評を得る。  
◇中国語学習 G : 1 月から 3 月のコースは 11 人が参加受講中。4 月からの新任講師を予定。  
◇社会・工場見学 G : 留學生向けアンケートを実施。3 月に朝日新聞本社、東京都庁見学を企画中。

### 地区交流会

◇東地区 : 11/11 に川崎市民活動センターにて 6 人での交流会および懇親会を実施。  
◇西地区 : 10/28 に 12 人の参加で交流会を実施。12 月 2 日、戸塚お結び広場で琴の演奏、PR 活動推進。  
◇南地区 : 12/21 に横国大弘明寺学生会館のウィンターパーティに参加。  
◇北地区 : 10/27 に 10 人が参加し、海外旅行体験ビデオ上映など多彩な交流会を実施。  
◇中央地区 : 10/21、カナファンにて 6 人で交流会を実施。  
◇湘南地区 : 11/11、江ノ島散策には 10 人が参加。12/14 に忘年会を兼ねた交流会を実施。

### 委員会

◇会員委員会 : 12/23 マッチング検討会を実施。新入会員の受入れ、会員数推移データの更新。  
◇広報委員会 : アンケートの実施。ニュース 74 号の編集。ホームページは適時更新。  
◇就活情報支援委員会 : 12/7 に委員会を実施。就活支援情報メールの定期発信と就活サロン運営。  
◇企画委員会 : 夢ファンド協力推進。助成認可調査。  
◇会計委員会 : 月次精算・決算作業。講習会受講料振込み管理。  
◇事務局 : 理事会・スタッフミーティング開催準備。RKK フェスティバル準備。会員委員会サポート活動。



## 会員募集中

RKK の活動に興味をお持ちの方はホームページをご覧ください。  
入会申込書はホームページ「入会案内」からダウンロードできます。  
ホームページは [NPO RKK](#) で検索いただけます。





# RKK創立20周年記念

RKKは本年4月に創立20周年を迎えます。それを記念して、下記により記念イベントを開催いたします。会員、留学生等多くの皆様と共に創立20周年を祝い、将来に繋ぎたいと思います。

## 【開催概要】

記念事業スローガン “未来に向けて、新たな一歩”

- 記念事業 ・「RKK創立20周年記念祝賀交流会」の開催
- ・「RKK創立20周年記念誌」の発行

日時 ・2019年6月29日(土) 13時より (創立20周年記念祝賀交流会)  
 会場 ・TKPガーデンシティ横浜 (横浜駅きた東口) (詳細は、追ってご案内)

RKKの20年間の活動を記念すると共に、これからの留学生のニーズに即した新しい支援活動をめざし、あわせて、ボランティア活動の喜びが一層、増すことを期待します。  
 皆様には、記念祝賀交流会へのご参加、記念誌へのご寄稿をよろしくお願い申し上げます。

## 留学生の皆さんへ / For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation)
- ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting・Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail; sakura\_tsudakei@ybb.ne.jp  
 Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>  
 Scan this code for getting application form



## NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先: 〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦  
 e-メール: [rkk1025office@yahoo.co.jp](mailto:rkk1025office@yahoo.co.jp) Tel & Fax: 045-813-8327  
 ホームページ: <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers  
 RKKニュース編集: RKK広報委員会 (新年号担当) 深水智明 Jan.29.2019

転載をお断りします。

